



(1) 石貼を除き葺工せる第一期工事全景。

## 日本生命本館第一期工事

**位 置** 大阪市東區北濱四丁目三二  
**敷地全面積** 1,117.80坪  
**本工事建坪** 434.472坪  
**同 延坪** 3,855.501坪  
**階 數** 地上7階地下2階(中2階を含む)  
 塔屋3階  
**高 さ** 7階扶壁上端迄地盤面上、102.165  
 尺  
**工 程** 昭和11年9月10日着工、昭和13年  
 10月竣工  
**様 式** 近世式  
**用 途** 1階 營業室、玄關廣間  
 2階 重役用各室及事務室  
 3—5階 事務室  
 6階 同上及統計機械室

7階 食堂、厨房、暗室  
 塔屋 機械室  
 地1階 圖書室、假金庫室、使丁溜  
 地中2階 配電盤室  
 地2階 機械室、汽罐室、變壓器室  
 蓄電池室、播音機室  
**基 礎** 潜函工法を以て地盤面上57.0尺迄  
 潜函を掘下げ基礎均混凝土は地盤  
 面下36.6尺潜函上に施工す  
**主體工事** 主體は鐵骨鐵筋コンクリート耐震  
 耐火構造にして鐵骨は現場鋸を廢  
 し磨きボールド及電弧熔接を以て  
 接合す  
**外 装** 北木島産花崗石貼  
**内 装**

(1階玄関廣間) 壁大理石貼付天井は彫刻付アーチ型にしてペンキ塗仕上げとす

(各階廣間) 床テラゾー塗付真鍮目地にして、2、7階壁大理石貼付、他は各階テラゾー貼付にて天井はプラスターペンキ塗仕上げとす

(各階廊下) 1階 壁テラゾー貼付天井プラスターペンキ塗仕上げにして外各階は腰テラゾー貼付壁及天井はプラスター水性ペンキ塗仕上げとす

(階段) 4ヶ所にして1、2號は腰テラゾー貼付壁天井プラスター水性ペンキ塗床は滑止金具取付リノタイル貼なり

其他階段は床タイル貼腰人造石研出し壁天井プラスター塗仕上げとす

(7階食堂) 床リノタイル敷幅木及窓廻り大理石貼付壁、天井、布貼ベ



(2) 完成せる第一期工事東北隅外觀。

ンキ塗仕上げとす

(1階營業室) 床リノリウム敷、腰テラゾー貼付壁、天井、プラスター塗水性ペンキ仕上げとす

(各階一般事務室) 床リノリウム敷、幅木テラゾー貼付、腰ペンキ塗、壁、天井プラスター塗水性ペンキ塗仕上げとす  
(便所) 床モザイクタイル貼腰タイル張り壁天井プラスター塗、水性ペンキ仕上げ

(其他) 1階及地階側窓にはシャッターを取付け各室入口及窓は殆んどスチール製とす

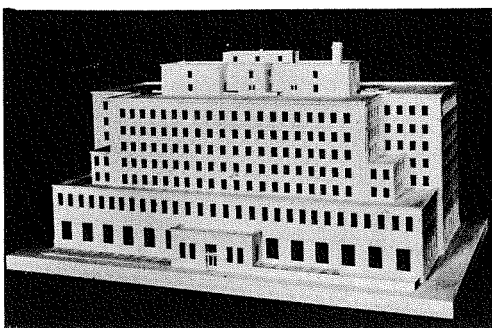
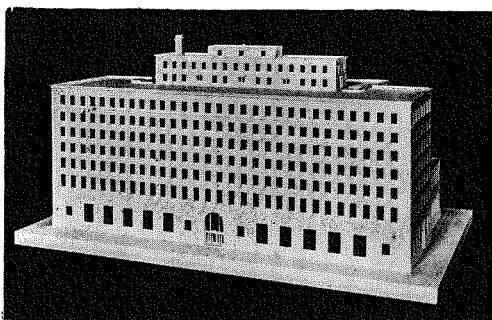
### 設 備

(エレベーター) 正面廣間にはオーチスエレベーター會社製昇降機2臺を設備し廊下には日本エレベーター會社製昇降機を設け別に同會社製人荷用エレベーターを設置す

(リフト) 事務室北側に圖書用リフト2基を設置す

(溫濕度調整設備) 冷凍機 250 HP 1基を

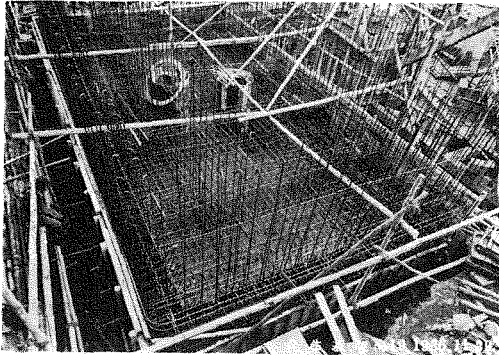
(3) 模型(上正面・下背面)



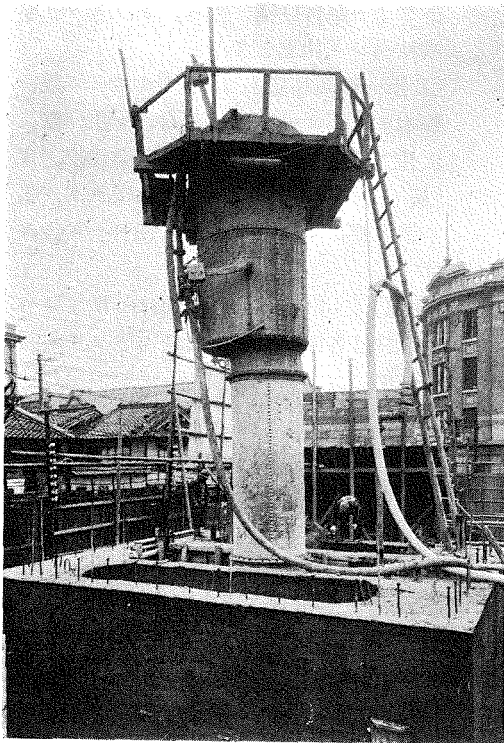
設備し図書室及食堂の冷房をなし、外に地階及塔屋に換気設備を設け一般事務室の換気をなす

(衛生設備) 給水工事は井戸水並に市水道を使用す、消火設備は各階廊下及事務室に設け外部との連絡は「サイヤミーズ」連絡による其他一般衛生用設備をなす

(4) 基礎潜函N號配筋。



(5) B 號 潜 函。



(暖房換気設備) 直接暖房及温風暖房設備をなし地階には低壓蒸氣罐大小4基(石炭使用)を設く

(電氣設備) 電力は大阪市電より供給を受け蓄電池室及非常用ガソリン發電機をも設置せり

設計監督 長谷部竹腰建築事務所

所 長 竹腰 健作

代 理 者 池田 宮彦

現場主任 山田 美男

施 工 建築工事の内基礎工事は白石基礎工業合資會社の施工請負にして主體工事は實費報酬加算式による大林組の施工、鐵骨製作松尾橋梁株式會社、セメント大阪窯業セメント株式會社、石材熊取谷熊次郎商店、エレベーター工事は日本エレベーター株式會社及東洋オーチス、エレベーター株式會社。

(6) 矢板弟拔作業。